



園だより 12月号

YMCA 保育園ねがい
2019年12月4日発行

「喜ぶ」

12月は、キリスト教保育を行っている園にとって、特別な思いのある月です。その特別な思いは、「喜ぶ」という言葉で表現できるものかもしれません。先週のアドベント礼拝に始まり、これからイエスさまの誕生を喜び、昔の人たちのように心待ちの日々となります。

日々の生活の中にも喜びはあります。月曜日の朝、園庭の門の傍らに立った時、幼児クラスの小学生の兄弟が、お母さんと一緒に下の子たちの登園に付いて来ました。帰りがけに今日から来る新入園児のお友だちの名前を言って、会えなかったと残念がっていました。新入園児の子が面接に来た時、幼児クラスでお友だちと少し遊びました。たぶん、その事を家で話したのでしょう。在園児だけでなく、兄弟も園に来ることを楽しみにしたり、安心してやっていることが分かり、とても嬉しく私にとっての喜びでした。同じように、人との関わりの（時間の）中に「喜ぶ」こと、喜びが生まれることに気付きました。異年齢児の関わりの中で、大きい子は小さい子にやさしく接して、小さい子は大きい子に遊んでもらって、憧れを持つ。どちらにとっても愛おしく感じる大切な時間となっていると感じます。

また、自分の思いを表現できること、その思いを分かってもらえることも、喜びであると思います。思いを伝える喜びは、子どもだけでなく、大人も同じだと思います。保育園でもご家庭でも大切にしましょう。

「喜ぶ」ことは、日々の生活を通して育まれていくものです。さらに12月は、特別なクリスマスを通して喜びやうれしさを子どもたちと一緒に感じるすることができます。これからも私たちは子どもたちと共に、愛を持って神さまに感謝しながら日々を大切に過ごしていきたいと思います。

12月14日(土)クリスマス礼拝には、ぜひご家族でご参加ください。みんなでイエスさまの誕生日をお祝いしましょう。
(園長 高橋 里香)



● 幼児の部屋にカブトムシの幼虫が仲間入り ●

園長が11月10日に江東YMCAのバザーに行き、カブトムシの幼虫をもらって来ました。幼児クラスの担任に相談して、ねがいで育ててみることにしました。男の子は好きだけど、女の子は嫌がるかと思っていたところ、みんなで土の入れ替えをしながら、園長に見せてくれました。また一匹かと思っていたのですが、大きな幼虫が二匹もいてびっくりしました。この幼虫が来年カブトムシになるのを楽しみに待ちましょう。

先日、にじ組の水槽を見ていたところ、めだかの小さい稚魚を2匹見つけました。小さいですが一所懸命泳いでいる姿が愛らしく思いました。

● 12月の行事予定 ●

- 4日(水) 身体測定
5日(木) アドベント礼拝(第2週)
内科検診(0歳児)
12日(木) アドベント礼拝(第3週)
14日(土) クリスマス礼拝(午前中)
16日(月)~ ほし・つき・にじ組個人面談
17日(火) 園庭開放
ほっとするコーヒー屋さん
19日(木) 消火避難訓練
29日(日)~1月3日(金) 冬季休園期間

※誕生会は、各クラスにて行います。

● 園庭の花が変わりました ●

世田谷ワイズメンズクラブの方が園庭門の横の桜の木の下にテッセンの仲間クレマチス、幼児棟壁のガーデンに寒さに強い葉牡丹とピオラに植え替えてくださいました。



● 12月のクラス目標 ●

- 0歳)・指さし、喃語といった表現を保育者に受け止められ、思いを表現することを楽しむ。
・戸外で散策をしたり、体を動かすなどをして遊ぶ。
1歳)・自分の思いを指さしや簡単な言葉で伝えてみようとする。
・冬の寒さの中でも十分に体を動かして遊ぶ。
2歳)・簡単な言葉のやり取りを楽しみながら、身近な大人や友だちと関わりながら過ごす。
・絵本や歌で思い思いに表現あそびを楽しむ。



- 3歳)・友だちや保育者に自分なりの言葉で気持ちや考えを伝えようとする。
・寒さに負けず、様々な遊びを通して元気に遊ぶ。
4歳)・身近な保育者や友だちに自分の考えや思いを伝えながら生活したり、いろいろな方法で表現する。
・冬の自然に気づき、十分に戸外で体を動かす心地よさを感じる。
5歳)・友だちの思いに気づきながら、自分の表現を十分に楽しむ。
・自分の体の状態を知りながら、戸外で遊び、寒さに負けず元気に過ごす。